

# mitoco Buddy

## mitoco Buddy 2026.04.24 Salesforce Hosted MCP コネクタ追加 リリースノート

リリース日:2026 年 4 月 24 日



## 目次

はじめに .....	3
1 リリース内容 .....	4
1.1 Salesforce 公式 MCP サーバーへの MCP コネクタ 追加 .....	4
1.1.1 今回のアップデートで実現すること .....	5
1.1.2 新しく追加された 8 つの MCP サーバー(コネクタ) .....	6
1.1.3 各 MCP サーバーに含まれるツール詳細 .....	7
1.1.4 導入手順(Salesforce 側の設定) .....	9
1.1.5 【重要】旧コネクタの非推奨と移行について .....	11
2 お問い合わせ先 .....	12
3 免責事項 .....	12

## はじめに

本リリースノートでは、mitoco Buddy の主要な新機能や、既存機能の機能強化に関する概要情報を提供します。新機能および機能強化には、既存の環境に影響を与える可能性があります。より詳細な情報については、リリース時に公開予定のヘルプサイトをご参照ください。

ヘルプサイト：<https://doc.buddy.mitoco.net/ja/user-guide>

※本リリースよりヘルプサイトを変更しました。

### ■ 概要

2026.04.24 アップデートでは、以下の機能を追加しています。

詳細については、ハイパーリンクをクリックしてください。

- ・ [Salesforce 公式 MCP サーバーへの MCP コネクタ 追加](#)

# 1 リリース内容

## 1.1 Salesforce 公式 MCP サーバーへの MCP コネクタ 追加

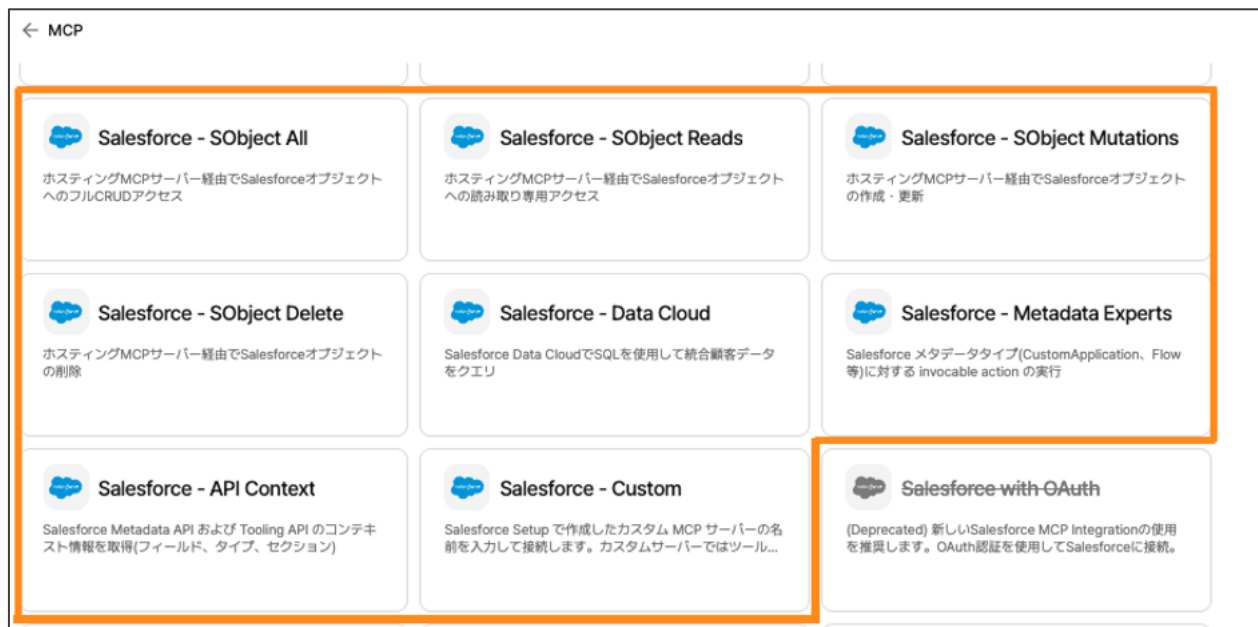
Salesforce 社の「Salesforce Hosted MCP Server」の提供開始に合わせて、mitoco Buddy でも、お客様側でのサーバー構築不要でセキュアに Salesforce データと連携できる新しい MCP コネクタ(全 8 種類)を 2026/4/24 にリリースしました。

プレスリリース:

<https://www.terrasky.co.jp/news/2026/04/mitoco-buddy-salesforcemcp.php>

公式リファレンス:

[Hosted MCP Servers Overview](#)



### 1.1.1 今回のアップデートで実現すること

---

#### ■ 最新プロトコルへの準拠

Salesforce 公式の Hosted MCP サーバーを経由することで、今後の Salesforce プラットフォームの進化に合わせた柔軟な機能拡張が期待できます。

#### ■ 高度なデータ活用

Data Cloud のクエリ、Tableau による分析、Prompt Builder との連携など、標準機能の枠組みでより高度な AI 操作を実現します。

#### ■ ユーザーコンテキストの維持

実行ユーザーの共有ルールおよび項目レベルセキュリティ(FLS)をそのまま継承するため、AI によるデータの読み書きも既存のアクセス権限内で安全に実行されます。

#### ■ プロコード・ローコード連携

Flow や Apex(Invocable Method)を用いた自社独自のカスタムツールも、MCP の仕組みを通じて AI から呼び出せます。

## 1.1.2 新しく追加された 8 つの MCP サーバー(コネクタ)

サーバー名	役割・概要
Salesforce - SObject All	指定したオブジェクトに対して、参照・作成・更新の各操作を統合的に実行します。 ※削除ツールは含まれません。
Salesforce - SObject Reads	指定したオブジェクトのレコード情報を取得します。SOQL クエリの実行や、レコードの詳細、メタデータの取得が可能です。
Salesforce - SObject Mutations	指定したオブジェクトに対して、レコードの作成および更新を実行します。 ※レコードの削除操作はサポートされません。
Salesforce - SObject Delete	指定したレコードの削除を実行します。他の Mutation ツールとは独立したサーバーとして提供されます。
Salesforce - Data Cloud	Data Cloud に対して SQL クエリを実行し、計算済みインサイトを含む大容量データや統合プロフィール情報を取得します。
Salesforce - Metadata Experts	有効化されているフロー(Flow)や Apex(Invocable Action)など、組織内のカスタマイズされたメタデータ情報を取得します。
Salesforce - API Context	接続中の組織の URL や現在のユーザーID、API バージョンなど、実行環境に関するコンテキスト情報を取得します。
Salesforce - Custom	Salesforce Setup で作成したカスタム MCP サーバーの名前を入力して接続します。カスタムサーバーではツール単位の Access Control はサポートされません。

### 1.1.3 各 MCP サーバーに含まれるツール詳細

---

各サーバーで使用可能なツールの一覧です。

#### ■ Salesforce - SObject All

Salesforce オブジェクトへの作成・読み取り・更新を提供します。

※ただし削除系 Tool は未提供

- ・ updateSubjectRecord: 既存のレコードを ID で更新。
- ・ updateRelatedRecord: 親から子レコードを辿って更新。
- ・ soqlQuery: SOQL クエリを実行してレコードを取得。
- ・ listRecentSubjectRecords: 最近表示/変更したレコードを一覧表示。
- ・ getUserInfo: 現在のユーザー情報とコンテキストを返却。
- ・ getRelatedRecords: リレーションを辿って子レコードを取得。
- ・ getObjectSchema: AI がオブジェクト構成を理解するために最適化された定義情報を取得。
- ・ find: 複数オブジェクトを対象にテキスト検索(SOSL)を実行。
- ・ createSubjectRecord: 新規レコードを作成。

#### ■ Salesforce - SObject Reads

読み取り専用アクセスを提供し、不測のデータ変更を防止します。

soqlQuery, listRecentSubjectRecords, getUserInfo, getRelatedRecords, getObjectSchema, find(参照系ツールのみ)

#### ■ Salesforce - SObject Mutation

レコードの作成と更新に特化したアクセスを提供します。

updateSubjectRecord, updateRelatedRecord, soqlQuery, listRecentSubjectRecords, getUserInfo, getRelatedRecords, getObjectSchema, find, createSubjectRecord

### ■ Salesforce - SObject Delete

レコードの削除操作に特化したアクセスを提供します。

- ・ deleteSubjectRecord: ID を指定してレコードを完全に削除。
- ・ deleteRelatedRecord: リレーションを辿って子レコードを削除。

soqlQuery, listRecentSubjectRecords, getUserInfo, getRelatedRecords, getObjectSchema, find

### ■ Salesforce - Data Cloud

統合顧客データに対するクエリを提供します。

- ・ post\_dc\_query\_sql: Data Cloud に対して SQL クエリを実行。
- ・ get\_dc\_metadata: データスペース内の使用可能なオブジェクト情報を取得。

### ■ Salesforce - Metadata Experts

メタデータに対するアクション実行をサポートします。

execute\_metadata\_action: Flow や CustomApplication などの呼び出し可能なアクションを実行。

### ■ Salesforce - API Context

開発や AI の精度向上に不可欠なコンテキスト情報を取得します。

- ・ search\_metadata\_types: メタデータタイプを部分一致で検索。
- ・ get\_metadata\_type\_sections: セクションキーのリストを取得。
- ・ get\_metadata\_type\_fields\_properties: フィールドの複数プロパティ値を取得。
- ・ get\_metadata\_type\_fields: フィールドリストと利用可能なプロパティ列を取得。
- ・ get\_metadata\_type\_context: メタデータの詳細なコンテキスト情報を連結して取得。
- ・ get\_data\_and\_tooling\_api\_context: Tooling API オブジェクトの定義や制約、例を取得。

### ■ Salesforce - Custom

Salesforce の設定(MCP サーバー)で登録したカスタム MCP ツールを呼び出せます。

### 1.1.4 導入手順(Salesforce 側の設定)

本コネクタを利用するには、Salesforce 組織で以下の設定が必要です。

#### ■ STEP 1: MCP サーバーの有効化(必須)

Salesforce の [設定] → [API カタログ] → [MCP サーバー] に移動します。

使用する対象のサーバーを、管理者権限で「有効」に設定します。

#### ■ STEP 2: 外部クライアントアプリケーションの作成

[外部クライアントアプリケーションマネージャー] から新規作成し、以下の項目を正確に設定してください。

##### 1 基本設定

- ・ OAuth 設定の有効化: チェックを入れる
- ・ コールバック URL: Salesforce MCP コネクタ画面に記載のコールバック URL

##### 2 OAuth スコープ (必須)

- ・ mcp\_api
- ・ refresh\_token

##### 3 セキュリティ設定 (重要)

- ・ 「指定されたユーザーの JSON Web トークン (JWT) ベースのアクセストークンを発行」: 有効
- ・ 「PKCE 拡張を要求」: 有効

4 Salesforce 設定の「外部クライアントアプリケーションマネージャー」を開きます。

5 「外部クライアントアプリケーション」を新規作成します。

#### 📖 参照

- 外部クライアントアプリケーションの作成方法は以下を参照してください。  
[外部クライアントアプリケーションの作成 \(Salesforce 公式\)](#)

6 コールバック URL: 以下を指定します。

Salesforce MCP コネクタ画面に記載のコールバック URL

### ■ STEP 3: mitoco Buddy での認証

- 1 作成したアプリケーションの「コンシューマーキー」と「コンシューマーシークレット」を取得します。
- 2 mitoco Buddy 側のコネクタ設定に上記情報を入力し、利用ユーザーごとの Salesforce アカウントで OAuth 認可(ログイン)を行います。

### 1.1.5 【重要】旧コネクタの非推奨と移行について

---

本リリースの新しい MCP コネクタ(全 8 種類)の提供開始に伴い、従来の「Salesforce」コネクタは非推奨となります。現時点ですぐに利用できなくなるわけではありませんが、今後の Salesforce プラットフォームの進化に対応するため、早期の切り替えを推奨します。

- ・ **対象:** 「Salesforce」「Salesforce with OAuth」
- ・ **現在の状態:** 管理画面上でグレーアウトされています。

#### ■ 移行に関する注意点

- ・ **再テストの実施:**  
従来のコネクタと新しい MCP コネクタでは、内部的なデータ取得形式や各ツールの引数が異なる場合があります。切り替えの際は、必ずサンドボックス環境にて、既存のプロンプトが期待通りに動作するか再テストを行ってください。
- ・ **設定の変更:**  
移行には、各コネクタ設定の差し替えだけでなく、後述する「外部クライアントアプリケーション」の作成および認証設定が別途必要となります。
- ・ **機能差分:**  
「Salesforce - SObject All」など、一部の MCP サーバーでは削除ツールが提供されないなど、従来のコネクタと機能範囲が異なる箇所があります。業務フローに影響がないか、事前に「1.1.2 新しく追加された 8 つの MCP サーバー(コネクタ)」のセクションを確認してください。

## 2 お問い合わせ先

ご不明点などがございましたら、以下よりお問い合わせください。

<https://d.terrasky.jp/ProductSupport>

## 3 免責事項

- ・ 本リリースノートは 2026 年 4 月 30 日現在のものです。Salesforce および本製品は、定期的にアップデートされるため、記載内容と現在の動作が異なる場合は、現況を優先させていただきます。
- ・ mitoco Buddy 利用規約については、[こちら](#)をご覧ください。
- ・ 本リリースノートの内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・ 本リリースノートの内容につきましては万全を期しておりますが、万一不明な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。



## 製品サポート

製品情報

<https://www.mitoco.net/mitocoBuddy>

製品ユーザーガイド

<https://doc.buddy.mitoco.net/ja/user-guide>

お問い合わせ窓口

<https://d.terrasky.jp/ProductSupport>

**mitoco Buddy 2026.04.24 Salesforce Hosted MCP コネクタ追加 リリースノート**

リリース日： 2026 年 4 月 24 日